

令和4年度執行目標（達成状況） 市民部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画等	R4年度 実績値	R4年度 目標値
市民部	市民課	1	マイナンバーカードの普及促進	自治体のデジタル手続きを実現するための基盤となるマイナンバーカードの交付について、令和4年度末に概ね全市民が取得できるよう、取組みを推進する。主な取組みについては、商業施設などを活用したマイナンバーカードの申請に加えて、加茂・山城支所での申請書の受付など、マイナンバーカードを取得しやすい環境づくりに取り組む。	一部未達成・成果小	大型商業施設や遠隔地の公民館、事業所等でのマイナンバーカードの出張申請サポートイベントを行い、取得しやすい環境づくりに努めた。また、広報誌やHP、新聞折込等メディアを活用し、住民への周知・広報活動に力を入れて取り組み、R5年3月末では69.5%の交付率となった。引き続き全市民の取得を目指し広報誌等メディアで積極的に住民への周知に取り組む。	マイナン バーカード 交付件数 (累計)	マイナン バーカード 交付円滑化 計画	55,404	79,038
市民部	市民課	2	「書かない窓口」の適正な運営	ICTを活用した業務改革が求められる状況の中、窓口における申請書類の自筆記載を省略し、異動受付業務の効率化を行い、市民サービスの向上を図る。令和3年度稼働した「書かない窓口」（窓口支援システム）について、課題等を整理しながら検証を行い、更なる利便性向上に向けて改善に努め、市民サービスの向上を図る。	概ね達成	令和4年2月1日より導入した「書かない窓口」について、導入当初は市民から申請書の記載がないことに対して、驚きと楽になったという声がたくさん聞かれた。窓口担当職員も積極的に操作方法を習得し、受付時間の短縮が図れている。令和4年9月に窓口に来られた市民の方に対し、アンケートを実施した結果、好評な意見が7割程度あり、窓口業務に対する市民満足度の向上が図られたと考える。				
市民部	国保年金課	1	国民健康保険健康事業の推進	第2期データヘルス計画に基づく健康事業の実施により、被保険者の疾病予防や健康意識の高揚を図り、健康寿命の延伸につなげる。まずは保険者の責務として実施し、生活習慣病の予防を中心に効果のある特定健康診査及び特定保健指導について、受診率及び実施率の向上を図る。一方、実施する健康事業については、効果等を踏まえた上で見直しも検討する。	概ね達成	特定健康診査（個別・集団）の受診率は、前年度同様27%を維持した。また、令和3年度実績を踏まえ、特定健康診査（集団）の定員を170人（令和3年度100人）としたことで前年度より受診者が0.5%（141人）増加した。今後も山城南圏域内に主治医を持たない市民等が健診を受ける機会をつくる目的で実施回数及び定員を検討し、受診率の向上に努める。 特定保健指導は、前年度（R3年度の健診・ドック受診者対象）利用率26.4%（130人）に対し30.4%（147人）（※R5.4.26現在、今後も追加支援予定あり）と増加した。利用率向上のための人材を確保（管理栄養士）し、電話による利用勧奨や戸別訪問により、生活習慣を見直す保健指導を実施した。今後は、会計年度任用職員管理栄養士1名の増員により更なる利用率の向上に努める。 また、市の健康課題である糖尿病の重症化予防策として新規の健康事業の取組みにより早期の糖尿病対策を検討する。	特定健診受 診率、特定 保健指導実 施率（%）	木津川市国 民健康保険 第3期特定 健康診査等 実施計画	27.0%、30.4%	対前年度比向上
市民部	国保年金課	2	新たな生活様式を踏まえた窓口対応見直し	年々、増加する窓口での手続き等の状況を踏まえ、混雑緩和に向け、各種事務事業（イベント参加、人間ドック等）において市民の来庁が必要でない対応・手続き等を抽出し、LoGoフォーム等を活用したオンライン手続きの実施を検討する。対応可能なものから、順次、実施する。	概ね達成	健康事業（集団健診）のWeb予約実施により、受診率が低かった年代の予約割合が向上するなど、一定の成果が見込めたが、約6割が電話による申込であったことを踏まえ、当面の間、同予約方法（電話・Web）による受付を継続する。また、人間ドックについても、利便性向上のため令和5年度からWeb予約を実施する。 医療費助成制度については、受給者証再発行申請から実施。今後は、対応可能な手続きについて検討し随時実施する。	LoGo フォーム等 利用率 (%)		41.47	30
市民部	人権推進課	1	木津人権センター及び木津児童館複合化整備計画の推進	老朽化が進む木津人権センターについて、その機能の確保と強化を図るため、令和3年度に作成した木津児童館との施設統合による複合化整備計画の基本計画に基づき、具体的な整備計画の実施設計を作成する。	概ね達成	令和3年度に策定した木津児童館との施設統合による複合化整備計画の基本計画をもとに、京都府、業者及び関係課と協議を重ね、具体的な整備計画の実施設計（案）を作成することが出来た。今後本施設の整備に向けて、国の動向及び補助金にかかる課題の整理に取り組むこととする。				
市民部	人権推進課	2	ジェンダー平等の実現に向けた普及啓発	「第2次木津川市男女共同参画計画」に基づき、一人ひとりの個性と能力を發揮しながら、男女がともにあらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会の実現を目指す。ジェンダー平等の観点から昨年度とは違う目標として、女性の就労支援や能力開発など女性が活躍出来るような啓発を進めていく。	概ね達成	ジェンダー平等の観点から女性の能力強化促進を目標として、パソコンや女性の就労支援などの講座を実施した。また、市内で活躍する女性のインタビューを行い、次年度発行のセンター機関誌での掲載により、女性の社会参画や多様な働き方についての情報発信と普及啓発に繋げる。コロナ感染防止により中止とした親子クッキングは、学校での調理実習の再開を踏まえて実施検討を行い、家庭における男女共同参画促進の取組み課題とする。				
市民部	まち美化推進課	1	循環型社会推進基金を活用したごみ減量施策等の更なる推進	循環型社会推進基金を活用し、ごみ減量施策等の実施方針（H31.1策定）に基づき、本年度は20事業に取り組む。特に厨芥類の削減対策として実施してきたダンボールコンポストの普及事業で、①地元産の竹チップの導入を進めるとともに、②食品ロス削減マッチングアプリの導入に取り組む。また、③ごみ減量実践モデル地区を募集して、ごみ減量・資源再利用を実施し、諸課題の解決に向けた検証等を行います。	概ね達成	循環型社会推進基金を活用した16事業に取り組んだ。 新規にモデル導入を検討した事業の内、竹チップコンポスト普及事業は延べ250名の市民参加を得た。食品ロスマッチングアプリ導入、ごみ減量モデル地区については、事業化にあたっての課題解決に至らず、実施を見合わせ廃棄物減量等推進審議会に報告した。継続事業では、学校等における環境学習支援（計12校・120クラス）が大きく進展した。	ごみ減量施 策等の実施 件数（事 業）	家庭系可燃 ごみ有料指 定袋制度の 収益を活用 したごみ減 量施策等の 実施方針	16	20
市民部	まち美化推進課	2	地球温暖化対策の推進	昨年度のCOOL CHOICE宣言、気候非常事態・ゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、地球温暖化対策実行計画を策定し、地球温暖化対策の必要性を広く周知し、市民の皆様や事業者が幅広く取り組める省エネルギー対策を推進するとともに、公共施設における再生可能エネルギー設備の導入可能性調査を行う。イベント等の実施によりCOOL CHOICE運動や再生可能エネルギーに関する啓発など、地球温暖化対策の普及促進に取り組む。	概ね達成	COOL CHOICE宣言等を踏まえた啓発イベントとして、企業・団体と協力して、市内商業施設でエコフェスタを2回・計4日間開催して300名以上の参加者があった。国補助金を活用して、公共施設における再生可能エネルギー設備の導入可能性を調査し報告書を作成した。地球温暖化対策計画については、アンケート整理、素案とりまとめに時間を要し、年度内策定ができなかったが、令和5年前半の策定に向け作業を進めている。	CO2排出 量（t- CO2）	CO2排出 量調査	6,670(2021)	-